



9/12 オープンウォータースイミング、高校生奮闘！

本県では、競泳長距離の選手の中からオープンウォータースイミング代表選手を選考している。競泳と違い、天候や汐の流れ、また選手同士の駆け引きや接触など、経験が大きく影響する競技である。

競泳シーズンを終え、オープンウォータースイミングを始めて1ヶ月あまりの森本力選手(香住丘高校3年)。海での練習もまだまだ数回しか行っていないが、大健闘の21位であった。森本選手は、「スタート直後に周りの選手との接触によって上に乗られたり、脚を持たれたりしたことが、出遅れの原因だった。集団から抜け出すことも難しかった。スピードには自信があったので...」と、悔しさをにじませた。

また、昨年の愛媛国体(21位)に続く2年連続出場となった鹿島理子選手(宗像高校2年)は、20位でフィニッシュ。昨年から一つ順位を上げたものの、昨年の経験から自信を持っての出場であったため、本人にとっては不本意な結果となったようである。レース中盤までは15位前後につけていたが、集団の競り合いの中で徐々に順位を落とした。鹿島選手自身が結果にこだわったレースだっただけに、悔しさもひとしおであったようだ。

大学生、社会人に混じってのレースであり、高校生としては大健闘であった。森本選手についても、この国体をきっかけに、オープンウォータースイミングを継続してもらい、さらに競技力を高めてもらいたい。



【競技を終えた鹿島選手】



【スタート前の森本選手(34番)】

健闘を誓う！ 福岡県選手団結団式挙行！

12日、県立スポーツ科学情報センターにおいて、選手団結団式を挙行了。

式では、県旗が選手団団長小川洋知事から旗手へと授与された。また、来賓である井上順吾県議会議長より激励の言葉が述べられるなど、身も心も引き締まる内容であった。



- ◆選手団旗手:ソフトボール競技成年女子 田川茉理選手(福岡大学)
- ◆選手団代表挨拶:少年男子陸上競技 阿部龍斗(福大大濠高校)

